

平成 31 年（2019）の干支・御題菓子販売のお知らせ

株式会社虎屋(代表取締役社長:黒川光博、所在地:東京都港区赤坂 4-9-22)は、平成 31 年(2019)の干支「亥」と歌会始のお題「光」にちなんだ新商品を期間限定で販売いたします。お世話になった方への御歳暮や年始のご挨拶など、一年の感謝の気持ちや平成最後の年への想いを込めた贈り物にいかがでしょうか。

<平成31年(2019)は亥年>



干支羊羹『笑み亥の子』

干支「亥」にちなんでおつくりしました。紅煉羊羹で、あたたかい春の陽気を、黒煉羊羹で、わずかに鼻先を上げ、母親へ駆け寄る猪の子の微笑ましい姿を表しました。

【販売期間】2018 年 11 月下旬～2019 年 1 月下旬(予定)

【販売店舗】全店

【価 格】 中形 1,944 円(本体価格 1,800 円)

竹皮包 3,888 円(本体価格 3,600 円)



干支パッケージ 小形羊羹

『夜の梅』(小倉羊羹)、『おもかげ』(黒砂糖入羊羹)、『新緑』(抹茶入羊羹)の 3 種類を、干支「亥」のパッケージでご用意しました。

【販売期間】2018 年 11 月 20 日～2019 年 1 月上旬(予定)

【販売店舗】全店

【価 格】 各 1 本 260 円(本体価格 240 円)

5 本入 1,404 円(本体価格 1,300 円)

※その他各種詰め合わせをご用意しております



『亥の風』 羊羹製 白餡入

猪は、非常に敏捷な動物で、目標に向かってわき目もふらず突き進む「猪突猛進」という言葉も知られています。

『亥の風』は、黒砂糖入りの羊羹製で白餡を包み、風のように野山を駆け回る猪の姿を簡潔に表現したお菓子です。

【販売期間】2018 年 12 月 16 日～2019 年 1 月 15 日

【販売店舗】関東・近畿地方の生菓子取り扱い店

【価 格】 1 個 486 円(本体価格 450 円)

<平成 31 年(2019) 歌会始のお題は「光」>



御題羊羹^{はる}『春ひかる』

2019 年歌会始のお題「光」にちなみ、おつくりしました。雪解けの水に射し込んだ日の光がきらきらと輝き、春を待っていた花たちが一斉に咲き出す様子を、明るい 3 色の色合いで表しました。

【販売期間】2018 年 11 月下旬～2019 年 1 月中旬(予定)

【販売店舗】全店

【価 格】 中 形 1,944 円(本体価格 1,800 円)

竹皮包 3,888 円(本体価格 3,600 円)



『暁光^{ぎょうこう}』 求肥製 白飴餡入

「暁光」とは明け方、東の空にさす光のことをいいます。お菓子の『暁光』は、白のカルメラを雲に、黄色の求肥を雲の切れ間からのぞく暁の光に見立てています。

【販売期間】2018 年 12 月 16 日～2019 年 1 月 15 日

【販売店舗】生菓子取り扱い店

【価 格】 1 個 486 円(本体価格 450 円)



『月夜^{つきよ}の水面^{みなも}』 琥珀製

月の光が夜の川面をほのかに照らす、その神秘的な情景を思い起こさせる色合いのお菓子です。

白下糖入りの琥珀製と柚子を加えた煉羊羹を重ね合わせました。

【販売期間】2018 年 12 月 16 日～2019 年 1 月 15 日

【販売店舗】関東・近畿地方の生菓子取り扱い店

【価 格】 1 個 486 円(本体価格 450 円)

歌会始について

人々が共通の題で歌を詠み、その歌を披露する「歌会」。その中でも、天皇によって開催されるものを「歌御会」といい、年の始めに開かれるものは「歌御会始」と呼ばれていました。大正 15 年(1926)以降は「歌会始」と改められ、今に至ります。平成 31 年(2019)の歌会始のお題は「^{ひかり}光」です。

御題菓子とは？

その年の歌会始の「お題」にちなみ、考案されたお菓子。明治 7 年(1874)、それまでは皇族・側近などで行われていた歌会始に、国民の参加も認められるようになりました。こうして歌会始が身近なものになってきたことも背景に、明治 21 年(1888)、京都の上菓子屋の有志が集まり、「お題」にちなむお菓子の展示を開催。これをきっかけに歌会始にちなんだお菓子をつくる店が増えていきました。当店では明治 40 年(1907)に記録があります。

<取材に関する問い合わせ先>

株式会社 虎屋 企画室広報課 早瀬寛太 住所：東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂 K タワー 7 階
電話：03-3408-4128 FAX：03-3408-6274 E-mail：kouhou@toraya-group.co.jp HP：www.toraya-group.co.jp